

【中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅲ】

第 1 問（配点 30 点）

専	任	担	当	制	で	作	業	者	の	連	携	経	験	が	少	な	い	中	、
今	後	は	小	物	か	つ	大	ロ	ッ	ト	が	中	心	の	機	械	加	工	班
と	、	大	型	か	つ	多	品	種	少	量	が	中	心	の	製	缶	板	金	班
の	連	携	が	必	要	に	な	る	た	め	、	全	体	の	計	画	立	案	お
よ	び	統	制	が	課	題	と	な	る	。	対	応	策	と	し	て	、	常	務
の	I	T	技	能	を	活	用	し	て	生	産	管	理	の	I	T	化	を	進
め	、	生	産	指	示	を	含	め	て	一	元	管	理	す	る				

第 2 問（配点 20 点）

担	当	機	械	以	外	は	操	作	で	き	な	い	作	業	者	が	多	く	、
技	術	情	報	等	も	各	専	任	作	業	者	が	専	有	し	て	い	る	た
め	、	作	業	の	兼	任	化	や	情	報	共	有	が	課	題	と	な	る	。
対	応	策	は	、	I	E	等	に	よ	り	標	準	化	や	マ	ニ	ュ	ア	ル
化	を	進	め	、	作	業	者	が	担	当	で	き	る	機	械	や	加	工	方
法	を	増	や	し	、	作	業	者	間	の	連	携	を	容	易	に	す	る	。

第3問 (配点 20 点)

C	N	C	木	工	加	工	機	の	実	演	動	画	を	ホ	一	ム	ペ	一	ジ
上	に	掲	載	し	て	、	N	C	機	械	の	使	用	経	験	が	な	い	家
具	や	工	芸	品	な	ど	の	木	工	加	工	関	係	者	に	対	し	、	な
ら	い	旋	盤	と	同	様	、	模	型	と	同	じ	形	状	の	加	工	品	を
容	易	に	再	現	で	き	る	こ	と	を	P	R	す	る	。	ま	た	、	顧
客	か	ら	の	各	種	質	問	に	答	え	て	受	注	に	結	び	付	け	る
た	め	に	、	C	N	C	木	工	加	工	機	の	最	終	検	査	は	製	造
部	に	移	し	、	設	計	担	当	者	の	余	力	を	増	や	す	。		

第4問 (配点 30 点)

顧	客	か	ら	の	質	問	を	製	品	改	良	や	新	機	種	開	発	に	活
か	し	、	加	工	精	度	等	を	継	続	的	に	高	め	る	。	ま	た	、
汎	用	性	は	ま	だ	十	分	に	評	価	さ	れ	て	い	な	い	た	め	、
外	部	の	C	N	C	制	御	装	置	製	作	企	業	と	連	携	し	て	プ
ロ	グ	ラ	ム	作	成	や	プ	ロ	グ	ラ	ム	提	供	サ	ー	ビ	ス	を	行
う	と	と	も	に	、	汎	用	性	の	高	い	標	準	タ	イ	プ	の	最	終
製	品	を	開	発	し	て	、	事	業	の	付	加	価	値	を	高	め	る	。